

○ 調査問題

11 次のA～Dの文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

D

もう先客がいる。
目の前の小さな足あとをたどっていくと、その先にかい犬のタロウがうれしそうにかけまわっていた。

A

けんたは窓からのまぶしい光で目がさめた。
ふとんから出て窓をあけると、目の前は真っ白な銀世界だった。
おもわず心がおどった。

C

急いで自分の部屋を出て、玄関のドアを開けた瞬間、けんたは自分の目をうたがった。

B

何だ、タロウも同じ気持ちか。
けんたとタロウは仲良くいっしょに雪の上を走りまわりました。

(2) ——— 線部を、他の文の表現に合わせて正しく書きかえましょう。

○ 調査問題の趣旨・内容

「文を読み返し、さらによりよい文にするための推敲をする」問題

【問題内容】 文章の文末表現から、敬体・常体の不統一という間違いを正し、より良い表現に書きなおしをする。

【作成の趣旨】 この問題は、作文などの文章を書く上で、敬体・常体のどちらかに文末をそろえるということが理解できているかを見る問題である。文を読み返し、さらによりよい文にするための推敲をする力が求められる。

○ 誤答分析

解答類型	①正答	2	無解答	その他	その他に含まれる 「頻出の誤答例」
出題のねらい	走りまわった	走りまわる 走る			
推敲して他の文末と同じ表現に書きかえる。	35.9%	0.8%	14.0%	49.4%	～走りました (11.9%) ～かけまわりました (9.9%) ～走りまわりました (6.9%)

- 正答率は35.9%であり、他の問題と比べて低い。またその他が49.4%と半数近くとなっている。
- Bの文の文末「走りまわりました」が、他の文の文末「目が覚めた」「目をうたがった」などと異なり、敬体を使用していることに気がつくことができていない児童が多いと考えられる。
- 文全体に着目して表現の違いを考え、推敲する力をつけるために、自分の書いた文章や他者の書いた文章を読み返して間違いを正したり、よりよい表現にしたりするなどの機会を意図的に設定する必要がある。

○ 指導上のポイント

よりよい文にするための推敲をさせる指導



- ペアまたは小グループでの活動を意図的に設定する。

児童自身が間違いなどを正したり、よりよい表現に書き直したりすることによって整った文章になることが実感できるように、下書きと推敲後の文章を比べるなどの工夫をすることが大切である。その時にペアや小グループで比べる時間を確保し、表現の確認や相手の意見や考えを聞くことで、さらによりよい文章に書き直すことができる。



お互いに報告書の内容を確認し合おうよ。

あれ？「～です」と「～だ」の文が混ざっているよ。それと、この書き方はもう少し分かりやすくできそうだね。



- 推敲に関する指導事項と言語活動の一例（低・中学年）から、系統的に指導する。

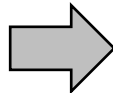
低学年

指導事項

言語活動例



- ・文章を読み返す習慣を付ける。
- ・間違いなどに気付き、正す。

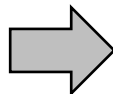


- ・想像したことを文章に書く活動。
- ・身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。

中学年

これらを意識して指導すると良いです!!

- ・文章の間違いを正す。
- ・相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整える。



- ・行事の案内やお礼の文章を書くなど、伝えたいことを手紙に書く活動。
- ・詩や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。

【関心、意欲を高めるために】文末の直しを、クイズ形式で繰り返し練習して慣れさせていく。

例：ぼくは、サッカーが好きだ。 → ぼくは、サッカーが好きです。

問題：例のように、文の終わりの言い方（文末）を直しましょう。

私は、昨日友達と遊んだ → 私は、昨日友達と 。 答え 遊びました

- 地域の方との会話、交流等の機会を生かして、敬語を用いた話し方や手紙の書き方、文の推敲の定着を図る。 ・よい表現は共有できるように、可視化するとよい。

○ 復習シート・コバトン問題集の活用

「文章の文末表現から、敬体、常体の不統一」という間違いを直し、より良い表現に書き直す問題
 (2) 線部を他の文の表現に合わせて、正しく書きかえましょう。レベル6・7

「文の順番を並び替えて、話の内容を組み立てる問題」
 (1) A～Dをお話が続くように順番をならべかえましょう。レベル4・5

C 「さようなら」
 帰りの会が終わって、先生にあいさつをして、たろうは教室を出た。

A 「あ、雨がふっている」
 外に出て雨がふっていることに気がついた。今日がきさを持って来ていなかった。

D 急いで教室にもどったろうは、かきを持って来ていないことを先生に話した。そして、先生からかきをかりました。

B その後、外に出て、先生からかりたかきを持って、家に帰ることができた。

□ 次のA～Dの文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

【出典】 復習シート
 4年生・国語
 レベル6・7



○ 調査問題

13

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

今、「ユニバーサルデザイン」という考え方が広まってきています。障害のある人たちにかぎらず、すべての人がくらしやすい社会をつくってほしいという考え方は、新しい製品を作るとき、

あるいは街づくりをするとき、いろいろな立場の人がいることを考えたうえで、デザインすることが求められています。目が見えない人、見えにくい人の中にも、点字が読める人もいれば読めない人もいます。ですから、点字だけではなく、はっきりとした見やすい表示や、音声で聞いて分かたり、さわって分かたりするためのくふうもさるかに必要です。

(1) すべての人がくらしやすい社会をつくってほしいという考え方が、とありますが、この考え方は、なんという考え方ですか。本文中からさがし、十字で書きぬきましょう。

○ 調査問題の趣旨・内容

「文章を読み、話題の中心を理解する」問題

【問題内容】 話題の中心となる言葉を本文中から書きぬく。

【作成の趣旨】 この問題は、説明文の基本的な読み方が理解できているかをみる問題である。説明文の読みでは、その形式段落が「何について書かれた段落であるか」を読み取ることが大切である。文章全体の構成を捉え、要旨を把握できるようにしたい。

○ 誤答分析

解答類型	①正答	無解答	その他	その他に含まれる「頻出の誤答例」
出題のねらい	ユニバーサルデザイン			
文章を読み、話題の中心を理解する	61.1%	17.3%	21.6%	「新しい製品を作るとき」 (17.9%)

- 正答（ユニバーサルデザイン）61.0%、無解答17.5%、誤答21.5%である。誤答のうち「新しい製品を作るとき」が、誤答全体の83%を占めている。
- 無解答や誤答の主な原因は、内容の把握が十分でないことが考えられる。形式段落の中で中心となる重要な語や文を見つけ、要旨を捉える力が求められる。

○ 指導上のポイント

中心となる語や文を捉えて文章を読む指導



特に説明的な文章については、重要な語句や中心となる語句が文脈の流れでどのように表現を変えているかを捉えられるようにしましょう。

- 説明的な文章に関して、児童が身につけておくべきことを確認しましょう。何ができていて、何ができていないのかを把握し、しっかり定着させましょう。
 - 【低学年】・時間的な順序を考えて、内容の大体を捉えること。
 - ・事柄の順序を考えて、内容の大体を捉えること。
 - ・文章の中の重要な語や文を考えて選び出す（書き抜く）こと。
 - 【中学年】・中心となる語や文を捉えて、段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。
 - ・目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること。

目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する指導

- 新聞づくりをして、中心となる言葉がわかる「見出し」をつくろう！
ねらい☆中心となる語や文を見付けて要旨を捉えることができる。
☆伝えたい言葉を短い言葉で表現することができる。
- ①見出しを省いた子供新聞を読み、見出しをつけるときに気をつける点や効果的な方法を考える。
 - 見出しは、10文字前後
 - 主語の省略や、体言止め 「○○大会で金メダル」など
 - 倒置法「聞いたよ、逆上がりの秘密！」など
 - 引き付ける言葉を効果的に使う
 - 助詞で終わることもある 「～に」「～へ」「～で」「～と」
 - 重要な語を引用して
 - 数値などを使うこともある 「100回目」「過去最高」など
- ②自分で身近な内容の新聞記事を書き、その記事に見出しをつける。
- ③つけた見出しをグループの人に発表したり、考えた見出しが適切であったかグループの人と一緒に考えたりする。
(理由や根拠を伝えるようにする。)

それぞれの記事に小見出しをつけてみましょう！



大事な部分はどこかな。



中心となる言葉はこれだね。

○ 復習シート・コバトン問題集の活用

次は、読書のことについて書かれた新聞の【コラム】です。

▼四月二十三日は「子ども読書の日」。世界では「世界本の日」とも呼ばれている。本とその作者たちを敬うとともに、読書の楽しみを味わう日である▼子供のころ、宮沢賢治の『セロ弾きのゴーシュ』に夢中になった。楽団の中で一番へたなセロ弾きであるゴーシュが、動物たちとの出会いを通して成長していく様子に心がおどった。▼ある作家の言葉に、「読書というものは、その時その時によって読みの味わいがちがう」というものがある。子ども時代に読んだ本を大人になって読み返すと、また別の楽しみが味わえるものだ。▼先日、『セロ弾きのゴーシュ』を再び読んだ。当日は気付かなかった人物の見事なえがきかやたたくみな描写に、賢治のすばらしさを実感した。

▼世界の人々が本について考える日。子供はもちろん、かつて子供であった大人も童心に返って本を楽しむ。そんなひとときもよいものだ。

筆者は、自分の思いや考えを根拠付けるためにある言葉を引用しています。それはどの言葉ですか。最も適切な言葉のはじめの五文字を書きぬきましょう。ただし、句点や読点、かぎは字数に含まれません。

【出典】平成二十七年全国学力・学習状況調査
※引用・・・人の言葉や文章を自分の話や文

の中にそのまま用いること

○ 調査問題

乗車

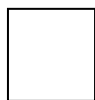
5 次の熟語の漢字の組み合わせをあとの1～4の中から一つ選びましょう。

1 上の漢字が下の漢字をくわしくする関係の組み合わせ

2 「～を」「～に」に当たる意味の漢字が下に来る組み合わせ

3 似た意味を持つ漢字の組み合わせ

4 反対の意味を持つ漢字の組み合わせ



○ 調査問題の趣旨・内容

「熟語の構成を理解する」問題

【問題内容】 熟語の漢字の組み合わせの説明として適切なものを選択する。

【作成の趣旨】 熟語の構成を正しく理解する力が身に付いているかを見る問題である。

二字の漢字からできている熟語の成り立ちには、(1) 似た意味の漢字 (2) 意味が対になる漢字 (3) 上の漢字が下の漢字を修飾する (4) 「～を」「～に」に当たる意味の漢字が下に来る (5) 下の言葉の意味を打ち消す漢字が上につく、などの組み合わせがある。これらについて、訓を手がかりにするなどしながら考え、共通する構成の熟語を選択する問題である。

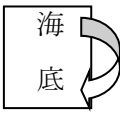


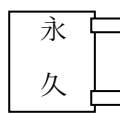
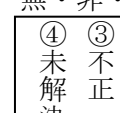
○ 誤答分析

解答類型 出題のねらい	1	②正答	3	4	無解答
熟語の構成を理解する	55.7%	31.2%	9.2%	3.2%	0.6%

- 誤答アの「上の漢字が下の漢字をくわしくする関係の組み合わせ」を半数以上の児童が選択している。本来なら、「車に乗る」という意味になるが、「乗る車」と意味が通るように自分で解釈してしまったと考えられる。上の漢字から読める熟語の場合、アの組み合わせと判断してしまいやすい。
- 「熟語の構成」を学習する単元は時間数が短いため、熟語の組み合わせ方の理解が不十分である上に、熟語の構成について選択する問題に慣れていないことが考えられる。
- 学習を進めるにあたり、熟語の組み合わせには上記の4通りなどがあること、特に間違えやすいア・イの組み合わせについて、熟語の意味をしっかりと確認する必要がある。
- たくさんの熟語を仲間分けしたり、同じ組み合わせの熟語に分類したりする活動を通して、語を増やしながら習熟を図る必要がある。

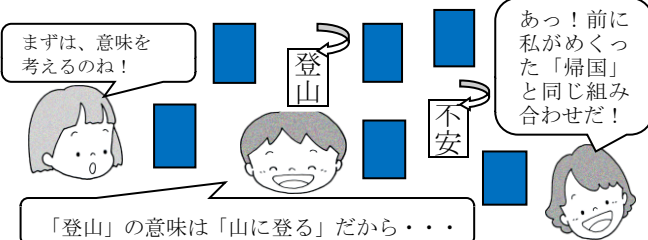
○ 指導上のポイント

熟語の構成を理解させる指導

熟語	1 意味を考える	2 構成を考え、判断する
海底	海の底	 海の底 (ア) 上の漢字が下の漢字をくわしくする関係の組み合わせ
① 着席 ② 作曲	① 席に着く * 「着く席」ではない ② 曲を作る * 「作る曲」ではない	 席に着く  曲を作る (イ) 「～を」「～に」に当たる意味の漢字が下に来る組み合わせ
永久	無限に続く	 永いこと 久しいこと (ウ) いた意味を持つ漢字の組み合わせ
④ 未解決 ③ 不正 ② 非力 ① 無休	① 休みがない ② 力がない ③ 正しくない ④ 解決していない	無・非・不・未などが上についている  ④ 未解決 ③ 不正 ② 非力 ① 無休 (エ) 下の言葉の意味を打ち消す漢字が上につく組み合わせ

熟語の構成を正しく判断させる指導

(活動例) 熟語カード分類ゲーム
 <対話的で深い学び> 3・4人のグループで、神経衰弱の要領でカードをめくり、熟語の組み合わせを説明する。同じ組み合わせだったら、2枚のカードをゲットできる。



「登山」の意味は「山に登る」だから・・・

* 熟語カードの例*

(ア) 上の漢字が下の漢字をくわしくする関係の組み合わせ

(イ) 「～を」「～に」が下に来る組み合わせ

(ウ) いた意味を持つ漢字の組み合わせ

(エ) 下の言葉の意味を打ち消す漢字が上につく組み合わせ

(オ) を作ってもよい

無言	非常識	不具合	未然
仁愛	忠誠	豊富	創造
国営	人造	耕具	山頂
消毒	投票	養蚕	帰国

<定着を図るために！> 新出漢字等で新しい熟語を学習した際、この熟語の構成について考える機会を日常的にもつようにする。

○ 復習シート・コバトン問題集の活用

次の熟語の構成は、どのようなものですか。ア～エの中からえらび、記号を書きましょう。

(1) 決心
 (2) 胃腸

ア 上の漢字が下の漢字をくわしくする関係の組み合わせ
 イ 「～を」「～に」に当たる意味の漢字が下に来る組み合わせ
 ウ いた意味を持つ漢字の組み合わせ
 エ 下の言葉の意味を打ち消す漢字が上につく組み合わせ

【出典】
 復習シート6年生・国語
 レベル7～9言語事項